

海外安全対策情報（2026 年 4 月～6 月）

1 社会・治安情勢

(1) 最近のパキスタン情勢

アフガニスタンとは、2025 年中、パキスタンとの国境地域における緊張は断続的に発生しており、2026 年 2 月にパキスタン軍はアフガニスタン領内のパキスタン・タリバン運動（TTP）キャンプに対して空爆を実施。その後双方の応戦が続き、3 月に一時停戦が合意されるも、依然として国境付近では突発的な攻撃が継続しており、実効性のある恒久的な停戦合意には至っていない。

(2) テロ等の傾向

ア 2025 年中、パキスタンでは 699 件（2024 年 521 件）のテロが発生し 5 年連続の増加となった。パキスタンのテロ発生件数は、軍及び治安機関等によるテロリスト掃討作戦により 2009 年以降減少傾向にあったものの、2021 年以降増加傾向にある。2021 年 8 月のタリバーンによるアフガニスタン・カブールの制圧以降、地域情勢が不安定化し、パキスタンにも大きな影響が及んでいる。2022 年 11 月、TTP がパキスタン政府との停戦協定の破棄を宣言し、その直後にバロチスタン州やイスラマバードで自爆テロが発生。2025 年 11 月には、イスラマバードの地方裁判所の前で自爆テロが発生し、12 人が死亡、36 人が負傷した。また、2026 年 2 月にもイスラマバード市内のシーア派モスクにおいて自爆テロが発生し、少なくとも 31 人が死亡、169 人が負傷した。

イ 4 月のテロ発生件数は 55 件であった。テロにより 57 人が死亡し、88 人が負傷した。

5 月のテロ発生件数は 57 件であった。テロにより 117 人が死亡し、163 人が負傷した。

6 月のテロ発生件数は 50 件であった。テロにより 66 人が死亡し、56 人が負傷した。

テロ発生件数（2026 年 1 月～3 月期）から 7 件減少（169 件→162 件）し、死者は 108 人減少（348 人→240 人）、負傷者は 121 人減少（428 人→307 人）した。

ウ 今期においては、即席爆破装置（IED）攻撃や銃撃が主要なテロの手段であり、その標的の多くは軍・治安当局とその関連施設であるが、テロ組織の中には中国・パキスタン経済回廊（CPEC）や中国関連施設を標的とする旨公言している勢力もある。

エ 都市部・地方問わず、治安当局によるテロリストの拘束及び武器・弾薬等の押収が多く確認された。治安当局による精力的な取締りが行われているが、依然としてイスラマバード首都圏を含めた都市部においてもテロの脅威は存在しているものの、これらに対応すべくイスラマバード警察は治安維持に取り組んでいる。

(3) 各種デモ

当地では、主に金曜礼拝後、各種団体による様々なデモが行われる傾向にあり、デモ参加者の行動がエスカレートし一部が暴徒化することもある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 銃器使用犯罪

今期においても、前期と同様に銃器を使用した犯罪及び押収事案が相次ぎ、特に主要道路から離れた路地等人通りが少ない場所においては、その危険性が高い。主要都市部においても、銃器を使用した強盗事件（ガンポイント）や侵入強盗事件が頻発している。

治安当局は継続的な銃器の取締りに取り組んではいるものの、違法に所持し摘発されるケースが後を絶たず、違法銃器のまん延が問題となっている。

(2) その他

今期においても、違法な銃器・爆発物・薬物の押収事案が多数報じられた。

なお、以下についても引き続き注意が必要である。

ア 招き入れ型侵入犯罪

イスラマバード首都圏は富裕層が多く居住しており、各家屋には警備員やドライバー等の使用人を雇っている家主が多いが、これら使用人が犯罪者側と共謀し家屋内に招き入れて犯罪に加担する事件が時折発生している。また、家主の不在の間に家屋に侵入し、金品を窃取する事件が発生しているため、在宅の有無にかかわらず施錠を行うほか、使用人、警備員等への指導を徹底する必要がある。

イ 名誉殺人

当地では地方を中心に、親が認めない相手との交際等で、家族の名誉を汚したとして女性又はその交際相手が殺害される、所謂名誉殺人が依然として発生している。今なおパキスタン社会では、毎年多くの女性が名誉殺人の犠牲になっている。また、当地では親同士が本人の意思と関係なく決めた相手と結婚させる風習が都市部で残存しており、それに起因するトラブルで結婚相手やその家族・親族等からのDV被害の発生も問題となっている。

ウ 性犯罪及び虐待

当地では、婦女暴行を含む性犯罪及び虐待事件が頻繁に報道され、その発生件数は非常に多い模様だが、同種事件の被害者は、二次被害のおそれ等から警察に届け出ないことが多く、被害実態は正確に把握できていない。被害者の年齢及び性別は多様で、特に子どもをターゲットにした極めて悪質な犯行も発生している。また、最近の報道によれば、イスラマバード市内居住の外国人駐在員女性が自宅の警備に従事している警

備員に寝室に押し入れられ、性的暴行を受けた事件が発生したとのことであり、当地では、「自分の身は自分で守る」という意識を常に持ち、決して油断することなく、細心の注意を払うことが重要である。

エ サイバー犯罪

パキスタン連邦捜査局（FIA）サイバー犯罪部門は、SNS を通じた詐欺投資話、違法な資金取引、児童ポルノのアップロード等、サイバー領域における監視を強化している。FIA では、違法な手段で入手した資金がマフィアの活動資金となっているとして、摘発を強化している。

オ プロの物乞い

イスラマバード首都圏では、マフィアの支配下にある物乞いが問題となっており、イスラマバード警察では摘発に力を入れている。道路上での物乞いを装って、拳銃強盗を働くケースも報告されている。物乞いに窓を開けて対応する等の行動は、犯罪者に付け入る隙を与えるため、厳に慎む必要がある。

カ 宗教上の禁忌に対する反応

2021年12月3日、パンジャブ州シアルコートの工場において、スリランカ人マネージャーをパキスタン人従業員が撲殺し、その遺体に放火する事件が発生した。事件の発端は、宗教的禁忌（預言者ムハンマドに対する冒瀆）に起因しており、激高した多くの従業員が暴徒化した。宗教上の禁忌に十分な注意を払い行動する必要がある。

3 誘拐・脅迫事件発生情報

今期、日本人を対象とする誘拐事件は発生していない。

当地では、パキスタン人が誘拐される又は誘拐後に殺害されて発見される事件がしばしば発生している。誘拐・脅迫事件の背景としては、テロ組織による、誘拐事件を利用した政府等への身代金等の要求又は資金稼ぎを目的として犯行に及ぶケースのほか、犯罪者が、強姦等の性犯罪や身代金目的で行うケースがある。このような誘拐事件は、解決までに多大な困難を伴うと共に、誘拐された被害者が殺害される可能性もあることから、事件に遭わないための安全対策が重要である。

また、女性や子供が性犯罪目的で誘拐される事件が多く報道された。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

今期においては発生していないものの近年に以下の邦人被害を含む事案が報告されている。

(1) 邦人被害について

2024年4月19日、カラチ市内コーランギー地区において、邦人複数人が乗車する車列が襲撃される事件が発生し、邦人1人が負傷したほか、攻撃に参加したテロリスト2人及び警備員1人が死亡、警備員1人及び通行人1人の計2人が負傷した。

(2) 外国人被害について

ア 2020 年 12 月 15 日、カラチ市南地区において中国人の車両にリモート爆弾が設置されたが不発だった。この中国人はレストランを所有している。同人がクリフトン地区のショッピングモールから帰宅していたところ、オートバイに乗車した 2 人の男が中国人車両に接触した後に逃走した。その際に爆発物が磁石で取り付けられた。

イ 2021 年 4 月、クエッタにおいて駐パキスタン中国大使が滞在していたホテルに対するテロが発生した。さらに、同年 7 月 14 日には、KP 州のダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらが乗る中国企業のシャトルバスが建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人及びパキスタン人十数人が死亡し、数人が負傷した。

ウ 2021 年 8 月 20 日、バロチスタン州グワダル市において CPEC 関連事業に従事する中国人技術者を狙った自爆テロが発生し、中国人及びパキスタン人 9 人が死亡、複数の負傷者が出た。

エ 2022 年 4 月 26 日午後、カラチ市のカラチ大学に隣接する孔子学院前で自爆テロが発生し、中国人教員 3 人を含む 4 人が死亡、2 人が負傷した。

オ 2022 年 9 月 28 日午後、カラチ市サダル地区にある歯科医院内で殺害事件が発生し、中国人 1 人が射殺され、2 人が負傷した。

カ 2024 年 3 月 26 日、KP 州においてダス水力発電プロジェクトに従事するスタッフらを乗せた車両が建設現場に向かう途上で攻撃に遭い、中国人 5 人とパキスタン人 1 人が死亡した。

キ 2024 年 9 月 22 日、KP 州スワート郡で、12 か国の外交官を含む代表団が、イスラマバードに戻る途中で IED による攻撃を受けた。外交官らは無事イスラマバードに戻ったが、車列を警護していた警察車両に乗車の警察官 1 人が死亡し、ほか 5 人が負傷した。

ク 2024 年 10 月 6 日、カラチ市ジンナー国際空港近傍において、中国人技術者らを狙った自爆テロが発生し、中国人 2 人及びパキスタン人 1 人が死亡、複数の負傷者が出た。

(3) 総論

当地においては、活動地域の最新の治安・安全情報の入手を欠かさず、安全を第一に考えた行動方針を定め、まずは事件に遭遇しないための対策を講じるとともに、万が一の事態を想定した具体的な警備・連絡体制を確立することが重要である。

また、当国政府の政策として、外国人の入域を制限している地域が国内各地に存在し、そのような地域に政府からの事前の許可を得ず（又は事前通報をせず）入域した場合には、速やかな退去を命ぜられ、現地治安当局による安全対策がなされないまま放置され、犯罪に巻き込まれた際に通常の警察活動が期待できない場合があるので、当国政府の規定に従い、事前に然るべき手続を行うことが必要である。

5 テロ発生状況

2024 年

4 月	34 件、死者	47 人、負傷者	32 人
5 月	36 件、死者	35 人、負傷者	57 人
6 月	27 件、死者	32 人、負傷者	36 人
7 月	38 件、死者	61 人、負傷者	44 人
8 月	59 件、死者	84 人、負傷者	166 人
9 月	45 件、死者	54 人、負傷者	117 人
10 月	48 件、死者	100 人、負傷者	80 人
11 月	61 件、死者	169 人、負傷者	225 人
12 月	44 件、死者	63 人、負傷者	74 人
年間総数	521 件、死者	852 人、負傷者	1,092 人

2025 年

1 月	56 件、死者	70 人、負傷者	109 人
2 月	54 件、死者	121 人、負傷者	103 人
3 月	94 件、死者	207 人、負傷者	229 人
4 月	40 件、死者	47 人、負傷者	77 人
5 月	46 件、死者	70 人、負傷者	111 人
6 月	63 件、死者	72 人、負傷者	95 人
7 月	58 件、死者	68 人、負傷者	93 人
8 月	98 件、死者	87 人、負傷者	155 人
9 月	55 件、死者	122 人、負傷者	130 人
10 月	41 件、死者	61 人、負傷者	62 人
11 月	48 件、死者	57 人、負傷者	93 人
12 月	38 件、死者	48 人、負傷者	97 人
年間総数	699 件、死者	1,034 人、負傷者	1,366 人

2026 年

1 月	55 件、死者	180 人、負傷者	64 人
2 月	53 件、死者	106 人、負傷者	250 人
3 月	61 件、死者	62 人、負傷者	114 人
4 月	55 件、死者	57 人、負傷者	88 人
5 月	57 件、死者	117 人、負傷者	163 人
6 月	50 件、死者	66 人、負傷者	56 人

(出典：パキスタン平和研究所「PIPS」)

6 安全を考える上で参考となる事件等（報道ベース）

4 月

- 1 日、KP州ラッキー・マルワット郡セライ・ノーラングTehsilバンヌー・D. I. カーン・ロードでパトロール隊が即席起爆装置（IED）による攻撃を受け、警察官 4 人を含む 9 人が負傷した。

- 1日、KP州バンヌー郡ペシャワールのマタニで検問所がテロリスト達による手榴弾攻撃を受け、警察官5人が負傷した。
- 2日、KP州バンヌー郡の環状道路で警察は銃創を負った2人の遺体を回収した。
- 3日、KP州バンヌー郡ドメル警察署に爆発物を積んだ車両が警察署の裏側に突っ込み、大規模な爆発を引き起こし、少なくとも民間人5人が死亡、警察官1人を含む13人が負傷した。
- 2日にKP州バンヌー郡ジャニケル地区で若者が身元不明のテロリスト達に拉致され、翌3日、同若者の弾痕だらけの遺体が入里離れた場所で発見された。
- 6日、KP州バンヌー郡キングル・ジャン・バハダル地区付近で警察官1人がオートバイに乗った武装集団からの発砲を受け死亡した他、同郡バカケル地区で警察官1人と民間の警備員1人が銃撃事件で死亡した。
- 7日、バロチスタン州マストゥング郡ギルドガブTehsilで治安部隊は標的を絞った作戦を実施し、テロ容疑者6人を殺害した。
- 7日、KP州ラッキー・マルワット郡シャバーズケル・タウンでTTPのテロリスト達が道路脇に駐車していたオートバイに取り付けたIEDが爆発し、警察官1人を含む警察官5人が負傷した。
- 13日、KP州ハンゲー郡タールTehsilでポリオ・ワクチン接種チームの警備に向かう警察部隊がテロリスト達からの襲撃を受け、警察官1人が死亡、4人が負傷した。警察部隊は即座に反撃し、テロリスト2人を殺害した。
- 13日、ギルギット・バルチスタンのディアメル郡チラス近郊でのケシ栽培取締作戦から帰還中の警察チームが身元不明の者達からの待ち伏せ攻撃に遭い、警察官3人が死亡、警察官1人を含む5人が負傷した。
- 14日、KP州バンヌー郡のミルヤン警察署管内シャマディ村で公立学校の教師がテロリスト達に銃を突きつけられて拉致された他、同郡バカケル警察署管内でもガス会社の運転手が拉致された。
- 15日、バロチスタン州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリ・タウンでポリオ・ワクチン接種チームを警護していた警察官1人がオートバイに乗った武装集団からの発砲を受け、死亡した。
同日、KP州バンヌー郡ジャンドゥケルのダワル・コロニーでポリオ予防キャンペーン従事していた3人がミリタント容疑者達に拉致された。翌16日、ポリオ従事者3人は、警察と地元ジルガの長老による共同の取組により、無事救出された。
- 15日、KP州ハンゲー郡で警察とミリタント達の間で衝突が発生し、警察官1人が死亡、1人が負傷した他、ミリタント2人が死亡、数人が負傷した。
- 16日、バロチスタン州クエッタ市クチュラーク・バイパス付近の辺境警備隊（FC）の検問所がオートバイに乗った武装集団からの発砲を受けたが、配備された治安部隊は直ちに反撃し、銃撃戦でテロリスト2人を殺害した。FC隊員2人が負傷した。

- 16日、KP州ハンダー郡でサマナ・グリスタン・フォート（FCの検問所）が身元不明のテロリスト達による攻撃を受け、治安部隊は撃退したが、銃撃戦で治安要員1人が負傷した。
- 17日、警察は前16日夜にシンド州カラチ市オランギ・タウンのマンゴピール地区で容疑者達を追跡中に警察官1人が射殺され、1人が負傷した事件をテロ事件としてFIR（First Information Report：警察の捜査開始の際に執られる手続）に登録した。TTPが本事案の犯行声明を発出した。
- 警察テロ対策局（CTD）と諜報機関の合同チームはシンド州カラチ市で強制捜査を実施し、フィトナ・アル・ヒンドウスタンと関連するテロ容疑者3人を逮捕した。容疑者達はバロチスタン州からカラチへ来るテロリスト達に隠れ家を提供していた。
- 17日、KP州ハンダー郡でサルキ・ピャラ警察検問所がテロリスト達による襲撃を受け、報道によれば、テロリスト達はクワッドコプターによる攻撃も仕掛け、警察官1人が死亡、警察官1人が負傷した。
- 17日深夜、KP州バジョール郡ワル・マムンドTehsilバダン地区で警察検問所が身元不明の武装集団からの襲撃を受け、警察官1人が負傷した。
- 18日、バロチスタン州当局者は記者会見で、昨年12月に同州チャガイ郡ノクンディTehsilのFC本部を標的とした女性自爆テロ犯の支援者とされる男性の妻を治安部隊が逮捕した旨発表した。当局者によれば、彼女の夫は女性とその子供達を自爆テロの訓練のためにアフガニスタンに連れて行った。
- 18日、KP州バンヌー郡付近のバルムケル地区近郊のインダス・ハイウェイで、治安部隊の車両を狙ったIEDの爆発が発生し、少なくとも治安要員3人が死亡、通行人3人が負傷した。
- 19日、KP州バンヌー郡クラム・ガリでミリタント達からの発砲を受け、FC隊員2人が死亡した。
- 19日、バロチスタン州クズダール郡で警察が容疑者達を逮捕するために強制捜査をしていた際に身元不明の武装集団からの待ち伏せ攻撃を受け、銃撃戦で警察官2人が死亡、2人が負傷した。また、同州マストウング郡ダシュト・クミーラ地区でテロリスト達との激しい銃撃戦が発生し、テロ対策部隊（ATF）隊員1人が死亡、4人が負傷した。テロリスト側にも死傷者が出たと見られる。同郡では、18日夜にもシェイク・ワシル地区で定期パトロール中の治安要員が攻撃に応戦し、犯人2人を殺害した。
- 19日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡スイTehsilレンジョ地区で地雷が爆発し、男性1人が死亡した。
- 19日、KP州バンヌー郡で治安部隊は情報に基づく作戦（IBO）を実施し、最重要指名手配者を含むTTPのテロリスト2人を殺害した。

20日未明、同州ラッキー・マルワット郡クンダン地区付近の森林で警察は作戦を実施し、テロリスト2人を殺害、複数名を負傷させた。銃撃戦で警察官1人が死亡した。
- 20日、KP州ハイバル郡ティラー溪谷ピール・メラ地区で道路建設作業員4

人（うち3人はバロチスタン州出身とされる）が武装集団に銃を突きつけられて拉致された。

- 20日、KP州南ワジリスタン郡南部ワナTehsilサルキ・コート地区で身元不明の武装集団からの発砲を受け、同郡保健局職員1人が死亡、その兄弟1人が負傷した。
- 21日、KP州バンヌー郡で警察官1人が身元不明の武装集団からの発砲を受け死亡した他、ハイバル郡マレワルド警察署管内で警察とテロリスト達との銃撃戦が発生し、通りかかった子ども1人が銃弾に当たり死亡した。
- 21日、KP州ラッキー・マルワット郡ベグケル地区で地元平和委員会のメンバー2人が身元不明の武装集団により射殺された。
- 21日、KP州ハイバル郡で治安部隊と法執行機関はIBOを実施し、TTPのテロリスト22人を殺害した。テロリスト達からの発砲により10歳の子ども1人が死亡した。
- 22日夜、バロチスタン州チャガイ郡の銅・金鉱山プロジェクト現場で身元不明の武装集団による発砲やロケット弾による攻撃を受け、トルコ人男性1人を含む少なくとも10人が死亡、8人が負傷した。
- 22日深夜、バロチスタン州カラート郡キリ・パンドラニにある店舗が身元不明のオートバイ乗り達による手榴弾攻撃を受け、4人が負傷した。
- 24日深夜、バロチスタン州カッチ郡でダーダル警察署がオートバイに乗った身元不明の武装集団からの襲撃を受け、警察官1人が死亡し、4人が負傷した。銃撃戦で犯人1人も死亡した。また、同州ノシュキ郡マル地区でも警察署が武装集団からの襲撃を受け、銃撃戦で警察官1人が負傷した。
- 24日、KP州バンヌー郡バカケル地区でクアッドコプターによる攻撃が発生し、民間人2人が負傷した。
- 24日夜、KP州バジョール郡カル地区ラシュカイで警察車両が身元不明の者達からの発砲を受け、警察官5人が負傷した。犯人達は負傷者の搬送のために到着した救急車に対しても発砲し、運転手と民間人3人が負傷した。
- 26日、KP州バンヌー郡シャーデブ付近で警察官1人とその5歳の娘が身元不明のオートバイ乗り達からの発砲を受け負傷した。
- 26日、KP州バジョール郡イナヤット・カレイ・バザールで部族長老1人が身元不明の武装集団により殺害された。
- 27日、KP州バンヌー郡ママシュケルで国営ラジオ通信社職員5人が通信ケーブルの敷設作業中に身元不明の武装集団に銃を突きつけられ拉致された。
- 27日、身元不明のオートバイ乗り2人に拉致されていた麻薬取締局職員1人がKP州ラッキー・マルワット郡ドゥーダ村付近で銃撃を受け死亡しているのが発見された。

KP州スワート郡カバル地区セイグラムでPML-N地方幹部（治安委員会元メンバー）が身元不明の武装犯により射殺された。

バロチスタン州ピシン郡フーラムザイ地区で警察検問所がテロリストの襲撃を受け、銃撃戦の結果、警察官1人が死亡した。

- 27日深夜、バロチスタン州チャガイ郡ダルバンディン地区で身元不明のオートバイ乗りが住宅に向けて手榴弾を投げ、爆発により日雇い労働者5人が負傷した。
- 28日夕方、KP州北ワジリスタン郡で出所不明のクアッドコプターがPML-N 地方幹部の自宅に爆発物を投下し、子ども3人が負傷した。
- 29日、KP州バンヌー郡の警備派出所を重武装したテロリストが襲撃し、銃撃戦の結果、テロリスト6人が死亡し、警察官1人が負傷した。
- 29日夜、KP州モーマンド郡の警察検問所が身元不明の武装集団による銃撃を受け、銃撃戦の結果、警部補1人が負傷した。
- 29日、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマール地区でアフガン・タリバーンによる迫撃砲弾が住宅2棟に着弾し、5人が負傷した。
- 29日深夜、身元不明の襲撃者が山岳地帯よりロケット弾4発をバロチスタン州クエッタ郡クエッタ市に向けて発射し、3人が負傷し、クエッタ市及び周辺地域には最高レベルの警戒態勢が敷かれた。その後の搜索作戦で同山岳地帯から20人以上の容疑者が拘束された。
- 30日、KP州ラッキー・マルワット郡ビタニ地区の警察検問所がテロリストの攻撃を受けて銃撃戦が発生し、警官1人が死亡した。
- 30日、身元不明の襲撃者がバロチスタン州チャガイ郡ダルバンディン地区にある住宅の中庭に手榴弾を投げ込み、5人が負傷した。

【5月】

- 1日、ダルパ・ヘル部族の長老1人が身元不明のテロリストにより自宅前で射殺されたことを受け、同部族の武装メンバーとテロリストとの間で武力衝突が発生し、テロリスト側で少なくとも9人が死亡し、数人が拘束され、部族民側では3人が死亡し、複数名が負傷した。
- 1日、KP州バンヌー郡でパトロール中の警察の装甲車両が武装勢力のロケット弾と銃撃による攻撃を受け、警察官1人が死亡し、民間人1人が負傷した。
- 2日、バロチスタン州ドゥキ郡ドゥキ地区で身元不明の人物が道路に設置した地雷が爆発し、オートバイに乗っていた警備会社職員2人が重傷を負った。
- 3日、CTDは、4月27日にパンジャーブ州ラホール郡において活動禁止組織であるアルカイダのために個人を勧誘していたとしてユーチューバー1人を逮捕し、反テロ法に基づいて同日立件した。
- 4月27日から5月3日の間にかけて、CTDはパンジャーブ州全域でIBOを実施し、バローチ解放軍（BLA）の工作員を含む活動禁止組織の関係者とみられる21人を逮捕した。
- 3日、KP州バジョール郡で社会活動家1人が身元不明の武装した襲撃者に発砲され、死亡した。数年前、同氏の父も同様の方法で殺害されている。
- 3日、同郡でIEDによる爆発で男性1人が死亡した。

- 3日、KP州南ワジリスタン郡北部サルワカイ地区で身元不明の6人から7人の武装集団が警察車両を待ち伏せして攻撃し、銃撃戦の結果、警察副署長1人が負傷した。
3日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡ダラバン地区で治安分隊によりIBOが実施され、銃撃戦の結果、テロリスト1人が死亡した。
- 3日、KP州ラッキー・マルワット郡で警察官1人が銃撃を受け死亡した。
- 4日夜、KP州南ワジリスタン郡南部ビルマール地区の軍の検問所付近で自爆テロ犯が爆発物を積んだ車両を爆破し、民間人1人が死亡、15人が負傷した。
- 4日、KP州バンヌー郡のファタケル警察検問所付近で水道衛生サービス公社（WSSC：Water and Sanitation Services Company）の職員5人が身元不明の武装集団により拉致された。その後、武装集団との交渉に介入したジルガの尽力により拉致された職員のうち3人が解放されたが、残り2人と奪われた公用車1台は依然として犯人の手に残っている。
- 4日、KP州ラッキー・マルワット郡サマンディでシェール・アフザル・マルワット下院議員の警護を務める警察官1人が襲撃を受け、負傷した。
- 5日、KP州チャルサダ郡ウトマンザイで、著名な宗教指導者でありJUI-Fの同郡支部長を務めるモーラーナ・ムハンマド・イドリース元同州議会議員が武装集団による車両への銃撃を受け死亡、護衛2人も負傷した。同人はモーラーナ・ファズルル・ラフマーンJUI-F党首の信頼する顧問の一人と見做されていた。警察の初期捜査によれば標的殺人と見られる。ISKPが犯行声明を出した。
- 5日、バロチスタン州でのIBOで中佐1人が死亡した。
- 6日、バロチスタン州ハルナイ郡のザフリ炭田地帯にある炭鉱が武装集団によって封鎖され、炭鉱労働者3人が銃を突きつけられ拉致された。
- 6日、KP州カラク郡バンダ・ダウド・シャー地区で油井が身元不明の武装集団により襲撃され、警備員1人が負傷した。
- 7日、KP州ハンゲー郡内の複数の地域で治安作戦が実施され、武装勢力が発射した迫撃砲弾がバザールに着弾し、民間人6人が死亡、13人が負傷した。
- 7日、KP州バジョール郡で治安要員とテロリストの衝突が発生したことに加え、同郡及び南ワジリスタン郡におけるアフガニスタン側からの越境砲撃により民間人2人が死亡、4人が負傷した。
同日、同州南ワジリスタン郡南部でアフガニスタン側から発射された迫撃砲弾がバザールに着弾し、民間人1人が死亡、2人が負傷した。
- 6日、バロチスタン州クエッタ郡で身元不明のテロリストが仕掛けた地雷にトラクターが接触し、運転手1人が負傷した。
- 8日、豪州は、BLA及びその上級指導者3人に対してテロ資金供与対策の制裁を科した。制裁対象の個人や団体の資産を使用・取り引きすること、またはそれらに資産を提供する行為は、高額の罰金及び最長10年の拘禁刑が科

される刑事罰の対象となる。

- KP州バジョール郡で身元不明の武装集団に警察官1人が拉致され、8日朝、同郡付近の山中で同警察官の遺体が発見された。
- 8日夜、KP州バンヌー郡で出所不明のクアッドコプターが住宅地付近に墜落して爆発し、民間人8人が負傷した。
- 8日の記事によると、4月9日にKP州バンヌー郡で実施されたIBOにより殺害された要注意テロリストが、タリバーン暫定政権のヤルムーク第60特殊部隊大隊隊員であることが明らかとなった。同隊員は、TTPと連携してテロ活動に関与していたとされ、国境を越えたテロネットワークの支援や複数の武装作戦の計画にも関与していたとの情報がある。
- 9日、KP州バンヌー郡バカケル地区で治安部隊がクアッドコプターによる攻撃を実施し、潜伏していたテロリスト1人を殺害した。
- 9日深夜、KP州バンヌー郡で、テロリスト達が爆発物を積載した車両をファタケル警察検問所に突入させて爆発させた後、重火器やドローンを用いて多方向から攻撃した結果、少なくとも警察官15人が死亡、3人が負傷した。同攻撃に関し、活動禁止組織のパキスタン・ムジャヒディーン連合（IMP）が犯行声明を発出している。

8日から10日、同州北ワジリスタン郡シェワ地区で実施中の治安部隊による大規模な捜索・掃討作戦において、武装勢力の司令官2人を含むテロリスト7人が殺害された。

- 10日、KP州タンク郡において身元不明の武装勢力による銃撃で警察官1人が死亡した。
- 10日、バロチスタン州カラート郡で身元不明の武装集団が警察署を急襲して署内に侵入し、警視副本部長（DSP）1人及びその護衛官1人を公用車とともに拉致した。
- 11日、パンジャーブ州アトック郡ジャンド地区のマンクール検問所周辺で、不審な人物に気づいた地元男性が同人物に詰め寄ったところ、同人物は自爆し、地元男性も死亡した。
- 11日、ブグティ・バロチスタン州首席大臣は記者会見で、諜報機関が女性の自爆テロ未遂犯を逮捕し、イスラマバードで計画されていた自爆攻撃を未然に阻止した旨発表した。記者会見には同女性とその父親も同席した。ケチ郡トゥルバット地区出身の同女性は過激派の訓練を受けており、従兄弟から父親に危害を加えると脅迫されて禁止組織への加入と自爆攻撃の準備を強要されていた。
- 11日、KP州バジョール郡ロイ・マムンド地区タルコで警察官1人が身元不明の者達から銃撃され死亡した。

同日、同州バンヌー郡リンク・ロードのカルギ・ホテル・チョーク付近で警察とミリタント達の間で銃撃戦が発生し、警察官1人が負傷した。

- 12日、KP州ラッキー・マルワット郡セライ・ノーラング地区の市場でテロリスト達がリキシヤに仕掛けた爆弾物が爆発し、交通警察官2人を含む少な

くとも9人が死亡、33人が負傷した。

- 12日深夜、バロチスタン州パンジュグル郡ファキリ・コロニーで、パトロール中の警察車両が身元不明のオートバイ乗り達からの手榴弾攻撃を受け、警察官1人が負傷した。
- 13日、バロチスタン州バルカン郡ノシュマンで、パキスタン軍及びバロチスタン州FCはテロリストに対する掃討作戦を実施し、テロリスト7人を殺害した。銃撃戦で少佐1人を含む治安要員5人が死亡した。
- 13日、バロチスタン州デラ・ブグティ郡ピール・コー地区で、身元不明の者達が仕掛けた地雷が爆発し、地元部族民兵2人が負傷した。
- 14日、KP州ハイバル郡ティラー溪谷アカケルで、クアッドコプターから投下された爆発物が民家に落下し、少なくとも民間人5人が負傷した。
- 14日、KP州バンヌー郡ザルガル・マミケルで、緊急救助サービス「レスキュー1122」の運転手が非合法組織と関係のある身元不明のテロリスト達に射殺された。同州でテロリスト達が救助隊職員を殺害したのは今回が初めてであった。

12日にラッキー・マルワット郡セライ・ノーラング地区で発生した爆発事件による死者は11人に達した。この他35人が負傷した。

- 14日深夜、KP州バジョール郡で、テロリストが治安部隊の検問所をクアッドコプター型ドローンで攻撃した後、自爆テロ犯が爆薬を積んだ車両を突入させた結果、少なくとも治安要員4人が死亡、35人が負傷した。爆発後、治安部隊は検問所への突入を試みたテロリスト全員を殺害した。TTPが犯行声明を発出した。

14日夜、同州ハイバル郡ランディ・コータル地区のモスク付近で、CTD職員1人が身元不明の武装集団からの発砲を受け死亡した。

15日、同州クーラム郡で治安部隊とTTPのテロリストとの間で銃撃戦が発生し、FC隊員1人を含む治安要員2人が死亡した他、テロリスト3人が死亡、複数人が負傷した。

同日、バロチスタン州マストゥング郡の高速道路で、武装集団が鉱物を運搬していたトラック3台を襲撃して放火するとともに、爆発物を用いて国道上の橋を破壊してパキスタンとイランを結ぶ交通を遮断し、逃走した。その後、当局は小型車両用の代替ルートを復旧させた。

同日、KP州ペシャーワル郡マタニで警察官1人が標的殺害とみられる事件で死亡した。

- 15日、KP州ペシャーワル郡ハサンケル地区で警察官1人が勤務後に身元不明の武装集団に銃撃され死亡した。
- 16日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット地区で、女性警察官1人が夫と子どもと共に勤務地へ向かう途中に武装集団に襲撃され、同警察官が死亡、夫と子どもが負傷した。
- 15日及び16日、KP州バンヌー郡で警察はIBOを実施し、TTPの司令官を含むテロリスト5人を殺害した。殺害されたTTPの司令官は、5月9日にファタ

ケル警察検問所で発生した自爆攻撃に関与していた。

16日、同郡ガンバル、ソカリ、ジャンドケル及び周辺地域で警察と平和委員会が共同で捜索作戦を実施し、銃撃戦で少なくともテロリスト2人を殺害した。

15日深夜、同郡サーキュラー・ロード沿いのコジャリで警察はIBOを実施し、テロリスト2人を殺害した。

- 17日、バロチスタン州政府は、同州クエッタ市郊外マングラ・ザルグーン・ガルで治安部隊は13日からIBOを開始し、同州内に拠点を置くテロ組織の司令官少なくとも3人を拘束した他、テロリスト35人を殺害した旨発表した。
- 17日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ地区ガラ・アスラムで実施されたIBOにおいて、治安部隊はTTPのガンダプール派に属する重要指人手配者のテロリスト2人を殺害した。
- 18日朝、KP州南ワジリスタン郡南部ワナ地区ルスタム・バザールでIEDが爆発し、アフマドザイ・ワジール部族長を含む少なくとも3人が死亡、4人が負傷した。
- 18日、KP州バジョール郡サラルザイ地区ダグ・カラで帰宅途中の警察官1人が身元不明の襲撃者達による発砲を受け死亡し、約2時間後同地区タバイでも帰宅途中の警察官1人が身元不明の襲撃者達からの発砲を受け死亡した。両警察官はポリオ・ワクチン接種チームの護衛を担当していた。
- 18日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡のヤリク警察署の外で警察官1人が身元不明の武装集団からの発砲を受け死亡した。
同日、同州タンク郡アリケルでFC隊員1人が身元不明の襲撃者達からの発砲を受け死亡した他、同郡ワンザ・ザロで同州野生生物局の職員1人が身元不明の武装集団により射殺された。
- 19日、軍統合広報局（ISPR）は、KP州北ワジリスタン郡シェワ地区で治安部隊は17日からテロリスト掃討作戦を実施しており、過去24時間でTTPのテロリスト22人を殺害した旨発表した。
- 19日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット地区ダシュティ・バザールでCTD職員1人が身元不明の武装集団から発砲を受け、死亡した。
- 19日夜、KP州バジョール郡ロウィ・マムンド地区バルコロゾで警察官1人が身元不明の武装集団からの発砲を受け、死亡した。
- 21日、ISPRは、KP州北ワジリスタン郡ダッタケル地区、同郡スピンワム地区及びバンヌー郡で治安部隊が過去48時間に亘りIBOを実施し、TTPのテロリスト23人を殺害した旨発表した。
- 21日、バロチスタン州ナシラバード郡DCチョーク付近で、身元不明の武装集団がパトロール中の警察車両に手榴弾攻撃を行い、警察官4人を含む15人が負傷した。
- 21日、バロチスタン州ピシン郡での銃撃戦で、FCはTTPの重要司令官1人を殺害し、別のテロリスト1人を逮捕した。殺害された司令官は、昨年9月

30日にFC隊員 3 人及び民間人10人が死亡したクエッタのFC本部への自爆攻撃の首謀者だった。

- 21日、KP州バジョール郡シャヒ・タンギでクアッドコプター型ドローン攻撃が墜落し、小学生 2 人が死亡した。
- 21日、バロチスタン州チャガイ郡シャ・ジャングで、身元不明のひどく損傷した遺体が 3 体発見された。初期報告によれば、遺体は17日に拉致されたとされるレコ・ディク鉱業会社の従業員のものである可能性がある。
- バロチスタン州ジアーラト郡マンギの国道で、石炭を積んだトラック 5 台が身元不明の武装集団により放火された他、乗用車 1 台が停止させられ、乗車していた警察官 1 人を含む 3 人が拉致された。

同州カラート郡カポトの国道上で、カラチへ向かっていた空港警備隊 (ASF) の将校が身元不明の者達により車両を制止された後、拉致された。誘拐犯は、運転手と別の乗客を解放したと報じられている。

- 21日、印側カシミール出身の教育者が、アーザード・ジャンムー・カシミール (AJK) のムザファラバードにあり自身が校長兼代表を務める私立学校の外で襲撃され、翌22日に重傷により死亡した。
- 22日、KP州ハイバル郡バラ地区アカケルで、警察官 1 人がオートバイに乗った身元不明の武装集団からの発砲を受け、死亡した。
- 23日、KP州バンヌー郡ミルヤン地区バラクザイ・アクンドケルで、警察及び平和委員会はテロリスト達と衝突し、少なくともテロリスト25人（主要テロリスト司令官 2 人を含む）を殺害、複数名を負傷させた。銃撃戦により、警察官と民間人がそれぞれ 2 人死亡、警察官 7 人と民間人 3 人が負傷した。
- 23日、バロチスタン州ノシュキ郡アフメド・ワルでの作戦で、治安部隊は、同州チャガイ郡の民間企業のキャンプで19日に武装集団によって拉致された労働者16人を含む20人を無事救出した。

同州デラ・ブグティ郡スイ地区で警察検問所がオートバイに乗ったテロリスト達による手榴弾の攻撃を受け、警察官 1 人が負傷した。

- 24日、バロチスタン州クエッタ郡クエッタ市でテロリストが爆薬を積んだ車両をクエッタ・チャマン鉄道線付近に停車させ、列車が通過する際に爆発させた結果、FC 3 人を含む少なくとも14人が死亡、20人が負傷した。同攻撃に関し、BLAが犯行声明を発出している。
- 24日、13日にバロチスタン州グワダル郡から同州クエッタ郡に向かう途中で行方不明となっていたグワダル大学の副学長及び准副学長を含む計 4 人が同州マストゥング郡で解放され無事帰宅した。
- 当地政府は、国内の主要な水資源インフラ事業及び同事業に関係する労働者、特に中国人労働者の警備を専門的に担う新たな「パキスタン水利電力開発公社 (WAPDA) 治安部隊」の創設を決定した。
- 24日、KP州北ワジリスタン郡ダッタケル地区で治安部隊はIB0の一環として複数のテロリスト拠点に対して攻撃し、TTPのテロリスト11人を殺害した。

- 24日、バロチスタン州キラ・アブドゥッラー郡チャマン地区で身元不明の武装集団がポリオワクチン接種チームに同行していた警察官1人に向けて発砲し、同警察官が重傷を負った。
- 24日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ地区でTTPのガンダプール派と関係があるとみられるテロリストが待ち伏せ攻撃を行い、平和委員会メンバー4人が殺害、1人が拉致された。
- 26日、バロチスタン州ナシラバード郡デラ・ムラド・ジャマリ地区シャルキで、JUIの地元指導者が身元不明の武装集団により射殺された。
- 29日から30日にかけて、KP州コハート郡ダラ・アダムケル地区で治安部隊はIBOを実施し、TTP関連組織「ターリク・ギダル・グループ」のアフガン人メンバー2人を含むテロリスト13人を殺害した。
- 30日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ地区の道路上で武装集団がバスを停止させ、バスに乗っていたFC隊員1人及び民間人3人を拉致し、その後、同隊員が死亡、同民間人3人は負傷した状態で解放された。
- 31日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ地区で治安部隊がIBOを実施し、指名手配中のテロリスト指導者の甥である主要テロリスト1人を殺害した。

【6月】

- 1日、KP州バジョール郡サルラザイ地区カドゥーク村で迫撃砲弾が着弾し、女性2人が負傷した。
- 1日、KP州デラ・イスマイル・カーン郡クラチ地区クラチ・ダラバン・モール付近で、前31日に行方不明となっていたFC隊員1人の遺体が発見された。
- 1日にKP州ラッキー・マルワット郡ガズニケルで誘拐されていた若者1人が、3日に無事に帰宅した。
- 2日、ISPRは、5月24日にバロチスタン州クエッタ市で発生した列車襲撃事件を受け、治安部隊は同州マストゥング郡、ヌシュキ郡、クズダール郡及びケチ郡でIBOを実施し、インドが支援するフィトナ・アル・ヒンドゥスタンに所属するテロリスト17人を殺害した旨発表した。
同日、KP州北ワジリスタン郡ミランシャー地区近郊で、治安部隊はTTPのテロリスト達による軍事検問所への攻撃を阻止し、少なくともテロリスト4人を殺害した。
- 2日、KP州ペシャワール市マタニで警察官1人が自宅から誘拐された後、死亡した。
- 4日、バロチスタン州グワダル郡で警察官4人が武装集団により拉致された。同警察官らはパキスタンに不法入国しようとしたアフガン人達を乗せた車両を検問していた。
- 4日、2月27日にKP州ペシャワール市マタニ警察署のセラ・カウラ検問所で手榴弾攻撃を受け重傷を負っていた警察官1人が、病院での治療中に死亡

した。

- 6日、KP州南ワジリスタン郡ラグザイ・バザール付近の警察検問所で、警察がオートバイに乗った武装した2人に停止を命じたが2人は従わずに発砲し、民間人1人が死亡、警察官1人を含む2人が負傷した。事件時には外出禁止令が発令されていた。
- 7日、KP州ハンダー郡カルブガ・シャリフで、1日から行方不明となっていた同州オラクザイ郡の警察官1人の遺体が発見された。
- 7日、バロチスタン州ケチ郡トゥルバット地区近郊のマンド・ロードで爆発物が爆発し、3人が死亡、1人が負傷した。
- 8日、KP州ペシャワール郡ハサンケル地区でテロリスト達が検問所を占拠しようとし、対応したFC隊員6人が死亡、4人が負傷した。部隊は検問所占拠の企てを阻止し、反撃によりテロリスト8人を殺害したが、犯人達により隊員3人が拉致された。

11日夜、同州バンヌー郡サイヤドギ・バカケルで、警察官1名が武装集団から発砲を受け、死亡した。

11日夜、同州カラク郡ムハバトケル・アルガダ付近で、警察官1名が武装したオートバイの集団から襲撃を受け、死亡した。

- 12日、KP州ラッキー・マルワット郡ケルケル・パッカのモスク付近で自爆テロが発生し、8歳の少女を含む2人が死亡、未成年者を含む少なくとも5人が負傷した。警察によると、自爆犯が爆発物を積んだオートバイで礼拝者を狙ってモスクに到達する前に、武装した村人達が犯人を殺害したが起爆した。

同日、同郡ガズニケル地区で、装甲兵員輸送車（APC）がオートバイに仕掛けられたIEDによる攻撃を受け、警察官1名が負傷した。警察によると、テロリスト達が警察のパトロール隊を狙うため、IEDを仕掛けたオートバイを駐車させていた。

12日、同郡アーザード・マンディ付近で、警察官1名が武装集団から襲撃を受け死亡した。

同日、同州バジョール郡バラング地区アシル・タルガウの神学校付近で、IEDの爆発により男性1人が死亡した。

- 13日、シンド州カラチ市で、CTDは、TTPに対しドローン攻撃に使用するためのドローン技術や電子機器を供給した疑いのある男性1人を逮捕した。同容疑者の兄はアフガニスタンを拠点とするTTPの現役メンバーであり、CTDの最重要指名手配者である。
- 14日、パンジャーブ州デラ・ガジ・カーン郡タウンサ地区ワフワ付近で、テロリスト達が爆発物を積んだ車両をジャンギ警察検問所の正門に突っ込ませ、警察官2人が死亡、3人が重傷を負った。
- 14日、KP州クーラム郡中部ミール・バーグで、警察検問所が身元不明の武装集団から襲撃を受け、通行人1人が死亡、警察官3人が負傷した。
- 15日、KP州ラッキー・マルワット郡ジャバルケルで、テロリスト達が村人

4名を殺害した。

- 5月21日にバロチスタン州ジアーラト郡マンギ付近で身元不明の武装集団に拉致されたマリク・シンガル・カーン・タリー PPPハルナイ郡支部長が、拉致から15日後に死亡したことが家族筋により確認された。同PPP支部長の遺体はバロチスタン州クエッタ郡の山岳地帯ザルグーン・ガルで発見された。拉致犯らは同PPP支部長の他、マンギ警察署長（SH0）及び警察官2名も連行したが、警察官3名は6月3日にザルグーン・ガルから解放された。
- 16日、KP州バンヌー郡ドメル地区で、TTPの司令官が警察署への襲撃を試みたが、治安部隊及び地元の平和委員会のメンバーは効果的に対応し、銃撃戦で同司令官の他、彼の息子及び甥を殺害した。
- 18日深夜、KP州ローワー・ディール郡で、バドワン橋上の警察検問所がテロリスト達から襲撃を受け、警察官1名が死亡、3名が重傷を負った。
同日、シンド州カラチ市マリール・カントメント付近で、ペン型爆弾を拾ったとされる男性1名が爆発により負傷した。
- 19日、KP州ラッキー・マルワット郡ダラ・ペズで、ワンダ・バノチ検問所がテロリストのクアッドコプターによる攻撃を受け、警察官3名が負傷した。その後、治安部隊は捜索・追跡作戦を展開し、銃撃戦でテロリスト1名を殺害した。
同日、同郡ケルケル・パッカで、元地元有力者（Nazim）の共同宿泊施設がテロリストのクアッドコプターによる攻撃を受け、警察官1名を含む13名が負傷した。
- 19日、KP州ハイバル郡ジャムルード地区ゴダル・ジャニケルで、玩具に似せた爆発物が爆発し、子ども2名が負傷した。
- 20日、KP州バンヌー郡マルカ・ベラで、2台の車両がIEDの標的となり、計7名が死亡、3名が負傷した。警察は爆発後に捜索作戦を開始し、容疑者3名を拘束した。
- 20日、KP州タンク郡で、警察検問所が身元不明の襲撃者の手榴弾による攻撃を受け、警察官1名が負傷した。
- 20日、シンド州タッタ郡ガロ付近のバプラ・ロードで、勤務中の警察官2名が身元不明のオートバイ乗りに射殺された。
- 21日、KP州北ワジリスタン郡ラズマク地区ワイドゥーンの検問所付近で、テロリストが爆弾処理班（BDU）を襲撃し、治安要員5名が死亡した。犯行時は外出禁止令が発出されていた。
- 22日、バロチスタン州ケチ郡で、光ファイバーケーブルの修理作業を行っていた作業員の警備にあたっていた警察官が身元不明の武装集団からの発砲を受け、警察官1名が負傷した。
- 22日、KP州カラク郡ダルガ・シャヒーダンで、パトロール隊がIEDによる攻撃を受け、警察官1名が負傷した。
- 23日夕方、KP州バンヌー郡ナルミケルでドローン攻撃が発生し、男性1名が負傷した。

24日朝、同郡のハヴェイド警察署がテロリストのクアッドコプターによる攻撃を受け、FC隊員2名が軽傷を負った。

- 24日、KP州南ワジリスταν郡北部サラログ地区パルトガイで、同地区警察署長（SHO）及び爆弾処理班（BDU）隊員2名を含む警察官8名が、身元不明の武装集団により拉致された。
- 25日、バロチスταν州グワダル郡オルマラ地区で、オートバイに仕掛けられたIEDが爆発し、男性1名が死亡した。
- 4月22日にバロチスταν州チャガイ郡の鉱山で発生した襲撃事件の後に行方不明となっていたトルコ人の掘削作業員が、無事救出された。

また、5月にバロチスταν州カラート郡で拉致された空港警備隊（ASF）将校の遺体が発見された。

26日夜、クエッタからカラチに向かっていた一家が、同ダシュト地区のカンドに迷い込んだ際にテロリストの銃撃を受け、男性1名が死亡、同人の妻が重傷を負った。幼い娘2名は無事だった。

- 27日、シンド州カラチ市グリスタネ・ジョウハルで、ジャマートウル・アハラル（JuA、TTPの分派）のテロリストが車両搭載型即席起爆装置（VB-IED）でレンジャー部隊の駐屯施設の正門に突っ込み、強烈な爆発を引き起こした。その後、激しい銃撃戦が発生し、レンジャー部隊はテロリスト3名を殺害したが、3名が死亡、4名が負傷した。
- 27日、バロチスταν州マストゥング郡ダシュト地区で、ピール・ワリ付近のミアン・ガンディー・リンク・ロード沿いに仕掛けられた路傍爆弾が、警察車両が通過した際に爆発し、警察官4名が軽傷を負った。
- 27日、KP州バンヌー郡ミルヤン地区で迫撃砲弾2発が住宅に着弾し、女性1名が死亡、同人の娘1名が負傷した。
- 28日、KP州バジョール郡ワル・マムンド地区で、住宅がクアッドコプターによる攻撃を受け、子ども1名が死亡、女性1名が負傷した。
- バロチスταν州クエッタ市で21日からASFを含む2名が身元不明の武装集団により拉致され、行方不明となっている。
- 29日、KP州バンヌー郡のローラ橋付近で、警察官1名が身元不明のテロリストに射殺された。
- 30日、バロチスταν州ハルナイ郡シャリグ地区ザルグーン・ガルで、民間ガス会社に勤務する地元の労働者6名が、身元不明の武装集団に銃を突きつけられて拉致された。